

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年12月1日

事業所番号	2771400914	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	医療法人 神明会	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム ラ・アケソニア	評価調査日	平成 21 年 11 月 24 日
所在地	箕面市白島一丁目19番3号 電話 072-727-2186	評価確定日	平成 21 年 12 月 4 日

【情報提供票より】 (平成21年11月9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年2月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9人
職員数	9 常勤 7人	非常勤 2人	常勤換算 8.2人

(2) 建物概要

建物の構造	RC造 3階建の1階部分
-------	-----------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	127,000円	その他の経費	12,600円	
敷金	無 ()			
保証金の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 950,000円		償却 有	
(入居一時金を含む)	期間 1年目～5年目まで			
食材料費	朝食	350円	昼食	500
	夕食	550円	おやつ	100
	または1日当たり		1,500円	

(4) 利用者の概要 (11月現在) 現在

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	6名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	87才	最低	82才	最高	92才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	印どうメディカルクリニック 箕面市民病院
---------	-------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームは北攝連山の麓の平野部にあり、明るい外装の新築ビルの1階で、共用室のガラス戸からの眺望は素晴らしい。近くの大型スーパー・カルフルは利用者の方々の楽しみな散歩先の一つである。職員は9名中、7名が社員で、介護経験も7年以上のベテランが、温かさ、一人ひとりの、その日の体調を十分に十分把握し、安定したケアが行われている

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	運営推進会議の委員さんのご配慮で、地元の方々との情報交流が行われている。職員7名が介護暦7年のベテランで、毎日、安定した介護が行われているが、介護記録は日々積み重ねられ、毎朝の引継ぎは、記録の確認から始めている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員の定例会議は毎月の第2月曜日に関き、業務全般についての情報交換等が行われている。職員の勤務も安定して来たので、今回の自己評価票も、管理者の原案に各職員が夫々検討した結果を集約して、作成している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議は定期的開催し、ホームの各種の報告も含めて情報交換を行い、又、ご家族にも出席して頂き、ご発言をして頂いて改善に役立たせている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族へは毎月の文書に短信を添えて報告している。運営推進会議に出席のご家族から、ご意見があれば改善に役立たせている上、来訪された場合は、更に詳細な利用者の近況報告を行っている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議にご出席の地元委員さんのご配慮を頂き改善に努めている。幼稚園、小学校、中学校とは連携し、高齢者への訪問、施設訪問、社会体験等で、適宜にホームにも来て頂いて利用者の方々との交流が出来、喜んで頂いている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念『愛を原点に行動します』『「その人」の気持ちになって行動します』『奉仕の精神を持って行動します』この理念に沿っている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の引継ぎの際に、理念の実践を喚起している		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地元役員のご配慮を頂き、交流を図っている。幼・小・中学校との相互交流もしている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価の意義を理解し、日常的に改善に配慮し、取り組んでいる		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	定期的開催され、諸報告の以外の情報交換も行われ、各種の改善に活かしている	○	地域の住民の方々に対し、認知症についての共通理解への働きを期待したい
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当者は、市のご担当者との交流に配慮している		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族への定期的な文書発送を行っている。来訪時には記録によって、詳細な報告に努めている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議へのご出席を頂いて、ご発言も頂いている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	積極的に機会をつくるよう、努めて欲しい

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的な計画の見直しは、計画作成者を中心として、利用者の変化に応じ、職員がカンファレンスで作成した上、その他の関係者とも相談して作成している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の状況に応じて適宜に、支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	殆どの利用者は、ホームの主治医に毎週1回、定期的に診察を受けている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化された場合は主治医のご指導で、ご家族との話し合いが行われている	○	利用者の高齢化に従って、当然、予想される状況ですので、職員とも情報共有を進めて欲しい
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員の定例会議でも虐待防止と共に、機密保持に指導をしている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共同生活の中で個人ごとに、体調や気分に応じた支援をしている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士が管理するメニューで、食事を楽しんで頂いている。又、利用者のリクエストによる食事も、適宜に行われている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	入浴は利用者の要望に出来るだけ浴よう支援をしている	

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	体操、買物 散歩等で楽しんでいる。法人併設施設への種々のボランティア活動、音楽療法への参加、見学も行われている	
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>	近所や、大型スーパーのカルフル、えの散歩を楽しんでおられる	

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	玄関の鍵掛け、昼間は行われていない	
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	消防署による指導を受けている	○ ホームだけで、職員のみ、の緊急避難の訓練も検討して欲しい

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事、水分摂取量は毎日、チェックをしている	
--	----	----	---	-----------------------	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用室等共用空間は、季節感の飾りも含めて居心地よく過ごせるようにしている	
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	個室は各自で居心地良く過ごせるよう好みの飾り、家具等を自由に置き、過ごしている	